



### ◆ 開発教育セミナー ◆

1989年に始まり、関西セミナーハウス活動センターの主要プログラムとして開発教育研究会を中心に行っています。安心して発信できる雰囲気を作り、対話を促進し、1泊2日の中で、人権・平和・環境・開発という地球的課題に取り組み、教材やアクションプラン作りをめざしています。しなやかに元気で学ぶの場を、みなさんの「参加」で作っていきましょう。



### ◆ すすめかた ◆

参加型学習の基本になる「話し合い」を軸にしたワークショップ形式で行います。

### ◆ タイムテーブル ◆ (第2～6回)

【1日目】	【2日目】
15:30 - 受付	8:00 - 朝食
16:00 - セッション①	9:00 - セッション③
18:00 - 夕食	12:00 - 解散
19:00 - セッション②	
21:00 - 交流会	

\*2日目の昼食が必要な方は申し込み時に、ご予約下さい。(追加料金:1,150円)

### ◆ 会場のご案内 ◆ (第2～6回)

#### 関西セミナーハウス

京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 (曼殊院北隣300m)  
電話:075-711-2115 <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
地下鉄「北山」駅 2番出口からタクシーで約10分  
叡山電車「修学院」駅、または、  
市バス 5、31、北8「修学院道」、65「修学院駅前」より徒歩20分  
駐車場あり(無料) ※第1回は別会場



### ◆ 開発教育セミナー要項 ◆

**対象:** 開発教育に関心のある方。  
**定員:** 各回30名(第1回50名)  
**参加費:** 全日程参加:10,500円(第2～6回)  
 (夕・朝食、宿泊費、3つのセッションのプログラム費含む)  
**申込み:** 事務局へ開催日6日前までにお申し込み下さい。  
 \*プログラムの構成上、できるだけ全日程でご参加下さい。  
 \*部分参加は事務局にご相談ください。  
 \*第1回「開発教育入門セミナー」、第2回オプションは別料金です。  
 \*定員に達した場合、締め切ることがあります。  
 \*前日以降の変更は、キャンセル料が発生することがあります。  
 \*第1回の詳細は、後日発表の要項をご確認ください。

### ◎ 開発教育とは ◎

私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。  
 そのために、開発教育は次のようなことをめざしています。

- ・世界の文化の多様性を尊重する
- ・貧困や南北格差の現状と原因を理解する
- ・開発問題と地球的諸課題との関連を理解する
- ・世界と私たち自身とのつながりに気づく
- ・社会参加できる能力と態度を養う

(特活) 開発教育協会 (<http://www.dear.or.jp>) の定義より

#### <事務局>

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 電話:075-711-2117 (直) FAX:075-701-5256  
 Eメール:office@academy-kansai.org  
<http://www.academy-kansai.org>

..... 2018年度開発教育セミナー申込書 .....

フリガナ	名前	所属
参加を希望する回に、○をつけてください。		
第1回	6/24 ( )	第2回 7/14-15 ( )
第3回	9/15-16 ( )	第4回 10/13-14 ( )
第5回	11/3-4 ( )	第6回 12/8-9 ( )
※第1回は、受付開始までは仮申込みになります。		
住所 (〒 )		
電話 ( )	ファックス ( )	
電子メール:	@	
通信欄		

～ 地球市民をめざして～

2018年度

# 開発教育セミナー

第1回 6月24日(日) <共催 京都市国際交流協会>  
**開発教育入門セミナー** (会場:京都市国際交流会館)  
 ～「足もと」と「世界」をつなぐ～  
 ・SDGs(持続可能な開発目標)を参加型学習で  
 ・イスラームを知ろう!

第2回 7月14日(土)～15日(日) **オプション<体験ワークショップ>**  
**ビジネスで持続可能な社会をつくる**  
 ～タオルから織りなす豊かな社会  
 講師 池内 計司さん

第3回 9月15日(土)～16日(日)  
**ロヒンギャはなぜ難民になったのか?**  
 ～ビルマ(ミャンマー)の来し方行く末  
 講師 宇田 有三さん

第4回 10月13日(土)～14日(日)  
**新しい日米外交を切り拓く～沖縄・安保・原発・TPP**  
 講師 猿田 佐世さん

第5回 11月3日(土)～4日(日)  
**今、外国人技能実習生は～私たちの社会と人権**  
 講師 早崎 直美さん

第6回 12月8日(土)～9日(日)  
**“スマート”でないスマホの裏側～鉱物資源の採掘からEVまで**  
 講師 田中 滋さん

主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー-関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会  
(第1回は、共催) <http://www.academy-kansai.org>

後援:京都市教育委員会、京都府教育委員会、認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)

◇ ごあいさつ ◇

これからの学校に求められるのは、「一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」と、新学習指導要領には記されています。しかし、それはいったいどのような取り組みなのでしょう。

開発教育セミナーでは、次の4点を意識した教育を考えています。

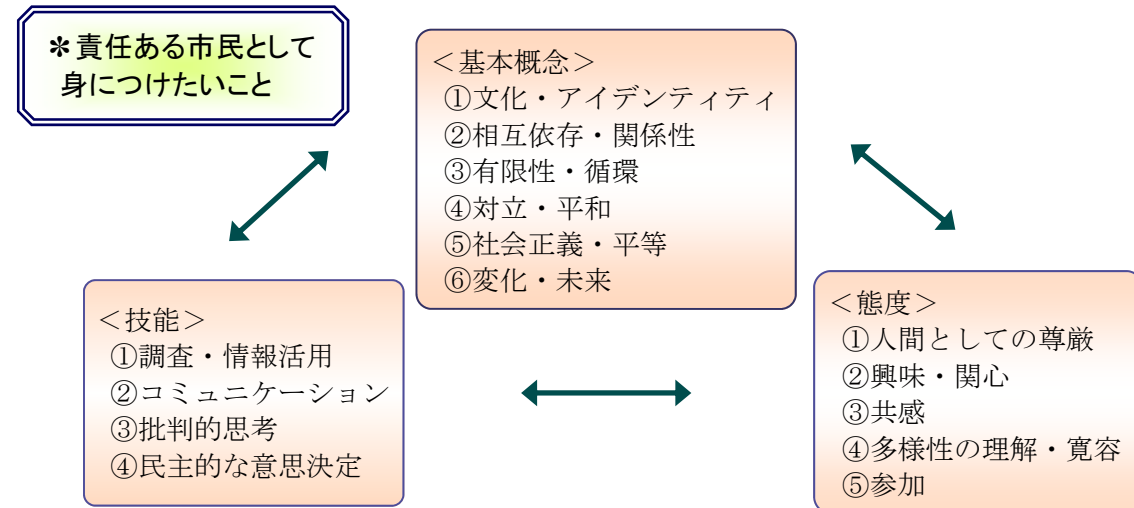
- ①「持続可能な社会」とはどんな社会かということについて、様々な場面で共に考えること。
- ②主体的に「学びの場づくり」に参加できるように工夫すること。
- ③社会参加を促すこと。
- ④このような取り組みを継続的、組織的に行うこと。

フィンランドの教員は、学校教育は何のためにあるのかという問いに、「生徒がしあわせになるため」と答えるそうです。自分が「しあわせ」になるには、他者も「しあわせ」でなければなりません。そのための学びの場は、学校だけでなく地域に開かれ、様々な人々とのつながりの中で拡張していくものでしょう。

このセミナーは、私たちがとりまく社会や世界が直面する課題について、学校教育に携わる方だけではなく、さまざまな場で活動する方々と共に考える「学びの場」です。

一人でも多くの方々と出会えることを願っています。

関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会



☆当セミナーから生まれた開発教育教材集『新しい開発教育のすすめ方』、『同 II 難民』(古今書院)、『身近なことから世界と私を考える授業』、『同 II』(明石書店)を、関西セミナーハウスで開催のセミナー時には、割引価格で販売します。



2018年度 開発教育セミナー年間案内



**第1回 6月24日(日) <共催>(公財)京都市国際交流協会  
開発教育入門セミナー～「足もと」と「世界」をつなぐ～**

10:00～16:00 会場:京都市国際交流会館

- ・SDGs(持続可能な開発目標)を参加型学習で  
なぜ国連はSDGsを採択したのでしょうか? 開発教育の基本的なアクティビティを通して世界の課題を学び、私たちができることを身近なところから考えましょう。
- ・イスラームを知ろう!  
イスラーム教を信仰している人々(ムスリム)が暮らしの中で使う様々なモノから、ムスリムへの理解を深めましょう。また、日本で生活するムスリムが直面する課題に対して、隣人としてできることを考えてみましょう。

◇お申込みは、5月20日頃から受付の予定です。

**第2回 7月14日(土)～15日(日)  
ビジネスで持続可能な社会をつくる  
～タオルから織りなす豊かな社会～**

オプション

<体験ワークショップ>  
「綿織り、糸紡ぎをしてみましょう」 講師:木綿庵 ゆうあん

講師:池内 計司さん(IKEUCHI ORGANIC株式会社)

綿花は、私たちの日常に欠かせない多くの製品の原料で、それを利用した綿産業は、産業革命や奴隷貿易とも深く関わって生産国の人々を翻弄してきました。今日でも、南北格差を広げる国際商品であり、児童労働、農薬汚染、遺伝子組み換えなどの問題も存在します。環境への負荷を下げ、生産者と消費者をこれまでとは違う形でつなぐビジネスモデルを知り、綿花をキーワードに持続可能な社会を考えてみましょう。

**第3回 9月15日(土)～16日(日)  
ロヒンギャはなぜ難民になったのか?～ビルマ(ミャンマー)の来し方行く末**

講師:宇田 有三さん(フォトジャーナリスト)

2015年、ロヒンギャ難民のことが国際的に大きく取り上げられましたが、未だに解決の道筋が見えてきません。この問題が今まであまり注目されてこなかったのはなぜでしょうか。ビルマ(ミャンマー)の過去と現在から学び、難民が生み出された背景や構造を日本とのつながりから見つめ直し、未来を共に考えましょう。

**第4回 10月13日(土)～14日(日)  
新しい日米外交を切り拓く～沖縄・安保・原発・TPP**

講師:猿田佐世さん(特活「新外交イニシアティブ」)

何でもアメリカのいいなりに見える日本ですが、都合よくアメリカを利用していると猿田さんは指摘しています。見えにくい外交の実態を知り、そこに市民の力で切り込んでいく過程を学ぶとともに、多様な声を届けあうにはどうすればいいか、柔軟な発想で平和的に問題解決をめざす道筋をどう描いていっていいか、一緒に考えましょう。

**第5回 11月3日(土)～4日(日)  
今、外国人技能実習生は～私たちの社会と人権**

講師:早崎直美さん(RINKすべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク)

現在、日本には20万人を超える外国人技能実習生が在住し、農業・漁業・製造業などの現場を支えています。しかし、深刻な人権侵害や事件が起き、「現代の奴隷制度」と批判されています。外国人労働者に寄り添い、支える現場で活動している早崎さんを通して、具体的事例を知り、私たちの社会のありようを見つめ直しましょう。

**第6回 12月8日(土)～9日(日)  
“スマート”でないスマホの裏側～鉱物資源の採掘からEVまで**

講師:田中滋さん(PARCアジア太平洋資料センター)

今や人々の必須アイテムとなったスマートフォン。しかし、その生産と消費のサイクルは、貧困と格差、環境破壊、人権侵害など多くの開発問題とつながっています。ここでは、鉱物資源の採掘から電子ゴミになるまでをたどるとともに、今後普及する電気自動車(EV)が世界に及ぼす影響について掘り下げます。